

科目名	論理国語			学年	類型・コース	単位数
				2年	自由選択2・普通	2単位
学習の目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、論理的、批判的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。					
教科書 副教材	主たる教材：「新編論理国語」（大修館書店） 副教材：「新国語総合ガイド」（京都書房）「明鏡国語辞典」（大修館書店）					
評価	評価法	定期考査・小テスト・各種課題・ノート等で評価します。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。		
		b	思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	文章の内容や筆者の主張を正確に読み取る。	「論理」についての筆者の考え方を読み取るとともに、筆者の主張をふまえて、これからの学習に興味を持つ。『「論理的な人」とはどのような人か』【読むこと】	定期考査 小テスト	定期考査 課題	ノート 課題
	5月	8					
	6月	8	論理の展開を理解し、要旨をつかむ。	具体例の役割や接続表現に注目しながら本文を読み、論理の展開をとらえる。『ウサギの耳はなぜ長い?』【読むこと】			
	7月	4	具体と抽象を使いこなす。	具体と抽象の関係について理解を深めるとともに、内容を具体化してわかりやすくしたり、抽象化してまとめたりする。【書くこと】			
夏休み			1学期の内容をもとに課題				
2学期	9月	8	対比をとらえ、主張を理解する。	対比の役割を意識して本文を読むとともに、文章の構成や接続表現に注目して筆者の主張を読み取る。『対話の精神』【読むこと】	定期考査 小テスト	定期考査 課題	ノート 課題
	10月	8	対比を使って主張する。	効果的な対比の使い方について理解を深め、主張を支えるための対比の用い方を考えて文章を書く。【書くこと】			
	11月	8	主張と根拠を正確に読み取り、文章の説得力について考える。	主張と根拠の関係を意識して本文を読み取るとともに、文章の構成や論理の展開に注意しながら、科学技術についての筆者の主張を理解する。『人工の自然—科学技術時代の今を生きるために』【読むこと】			
	12月	4					
冬休み			2学期の内容をもとに課題				
3学期	1月	6	文章を吟味し、考えを深める。	情報を的確に比較・整理しながら、対比の役割を意識して、紙の本についての筆者の考えを読み取る。『紙の本はなくならない』【読むこと】	学年末考査 小テスト	学年末考査 課題	ノート 課題
	2月	6	比べて読む。	二つの文章を比べて読み、自分の考えを持つ。【読むこと】			
	3月	4	レポートをまとめよう	読者を意識し、構成や記述を工夫しながら、読みやすくわかりやすいレポートを書く。【書くこと】			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
論理国語では「書くこと」「読むこと」それぞれの力の育成を目指します。忘れ物や課題の提出状況は、評価に大きく影響します。積極的な授業への参加を期待します。